令和5年1月13日（金）陸奥新報（15面）

健康社会の実現を

来月10日に弘大シンポ

弘前大学は、今年度新たに文部科学省などによる研究支援事業「共創の場形成支援プログラム（ＣＯＩ－ＮＥＸＴ＝以下ＣＯＩネクスト）」の拠点に採択されたことを受け、シンポジウム「弘前大学ＣＯＩネクスト　Ｗｅｌｌ－ｂｅｉｎｇ（ウェルビーイング）イノベーションサミット2023」を２月10日午後１時から、弘前市のアートホテル弘前シティで開く。健康を軸にした地域社会モデルの実現、ヘルスケア産業創出戦略などについて議論を交わすほか、プロジェクトに参画する全国各地の大学や大手企業が研究の最前線を解説する。参加無料、オンライン同時開催。（石田紅子）

弘前

参加無料　研究最前線など解説

―健康基軸の「経済発展モデル」と「全世代アプローチ」で高ＱＯＬ＆ＧＮＨ未来社会実現をめざす―

弘前大ＣＯＩネクストは健康を軸にした経済発展と、全世代にアプローチすることで健康に働き続けられる地域共創社会の実現を目指す取り組み。岩木健康増進プロジェクトで知られる弘前大ＣＯＩの取り組みを発展させた、いわば後継プロジェクト。

シンポジウムは弘前大、弘前市などが主催。プロジェクトリーダー（ＰＬ）・拠点長の村下公一同大健康未来イノベーション研究機構長による基調講演をはじめ、桜田宏市長と副ＰＬでＤｅＮＡグループエグゼクティブ・ＤｅＳＣヘルスケア代表取締役社長の瀬川翔さんがそれぞれ基調講演する。

ほかに、若い世代を代表して学生たちによる講演や、村下機構長や瀬川さんらが登壇してパネルディスカッションも行われる。

参加には事前申し込みが必要。定員は会場参加が先着３００人、オンライン参加は１０００人。

申し込みは弘前大ＣＯＩネクストのホームページ（https://coi.hirosaki-u.ac.jp/2022/12/post-14322/）から。問い合わせは同研究機構（☎０１７２㊴５５３８）へ。

「ウェルビーイング　イノベーションサミット２０２３」のチラシ